

## 平成 20 年度森林共生フォーラム現地研修会の概要

平成 20 年 10 月 9～10 日，宮城県蔵王町，山形県上市市・山形市において，本年度の現地研修会を開催いたしました。（「第 22 回森林レクリエーション全国研修会」に合わせて開催）

### 【第 1 日目（9 日）】

JR 東北新幹線「仙台駅」前に集合し，先ず蔵王町にある「みやぎ蔵王こけし館」（蔵王町伝統産業会館）において，宮城県の遠刈田系をはじめとする東北地方 11 系統（津軽系・南部系・木地山系・鳴子系・肘折系・山形系・蔵王高湯系・作並系・土湯系・遠刈田系・弥治郎系）の伝統こけしや木地玩具 5 千点を視察しました。系統別・工人別等にわかりやすく展示されており，その迫力に圧倒されるものがありました。会館の理事長さんから説明を受け，工人の実演も拝見しました。また，地元蔵王町の村上町長さんから歓迎のご挨拶をいただきました。



続いて，蔵王連峰を目指して紅葉真っ盛りの「蔵王エコーライン」（昭和 37 年開通の山岳道路）を登り，途中ではむき出し火山岩の男性的な蔵王の姿，紅葉の美しさと「三階滝」，そして，山頂ではエメラルドグリーンの水をたたえ，五色沼とも呼ばれる「お釜」に魅了されました。

蔵王エコーラインの下りでは，冬のスノースポーツ，グリーンシーズンの自然体験等，四季を通じて楽しめる「ライザスキーワールド」を，そして標高 1,000m の蔵王坊平高原では，交流促進施設・トレーニングセンター「ZA0 たいらぐら」等を視察しました。ZA0 たいらぐらは屋外のグラウンドなどのスポーツ施設等と合わせ，準高所トレーニングに利用され，北京オリンピックに向けた国内外のスポーツ選手の強化合宿地として利用されたそうです。

当日の宿泊は，山形市の蔵王温泉・スキー場に隣接する「蔵王アストリアホテル」でした。大久保社長さんをはじめ従業員の皆さんから心のこもったおもてなしをいただきました。改めて厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

## 【第2日目（10日）】

8:00 にホテルを後にして、隣接する蔵王ロープウェイ山麓駅から 50 人乗りのゴンドラで紅葉とアオモリトドマツの緑のコントラストが美しい大自然の中へ、途中の樹氷高原駅から新しい複式単線自動循環式ゴンドラ（通称「フニテル」）に乗り換えて標高 1,660m の地蔵山



頂駅まで、乗り継ぎでおよそ 15 分です。フニテルは複式単線ということで、強風等による横揺れに強く安定した輸送と安全性が確保されており、年間の運行休止はほとんどないとのこと。山頂駅周辺ではこの高地に鎮座する高さ 2 m の「蔵王地藏尊」に手を合わせ、三宝荒神山からは 360 度の大パノラマ、飯豊、吾妻、朝日連峰、月山、葉山等の雄大な景観を満喫しました。

蔵王から山形市街に下る途中にある「山形市野草園」は、自然と人間の共生をテーマとして、蔵王地域に自生する樹木や野草、約 850 種が保存管理されており、子どもたちなどを対象とする環境教育や自然体験の場としても利用されています。少し駆け足でしたが、インストラクターの方に園内を案内していただきました。また、山形市内では、山形城跡「霞城公園（かじょうこうえん）」を見学し、最上家の第 11 代城主で、最盛期には石高を 57 万石まで築き上げ、地元では絶大な人気を誇る「最上義光公」を偲びました。

最後は、地元の皆さんご推奨の山形市内の蕎麦どころ「惣右工門」において昼食をいただき、今回の研修会は無事終了となりました。

今回の現地研修会につきまして、ご多用のところご参加いただいた皆様はもとより、開催に当たり多大なご支援、ご協力をいただきました関係の皆様に対し、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。本当に有り難うございました。